

NPO紹介シート

作成日 平成19年7月25日

作成者 久保 友美恵

法人格 無	団体名 ホームレスを支援する会 オープンハンドまつやま	フリガナ 代表者	タンゲ ハルキ 丹下 晴喜	団体設立日 平成17年4月1日					
活動地域	松山市内、愛媛県内	正会員	賛助会員	事務局	ボランティア				
主たる活動の種類	人権、福祉	個人	30名	有償					
従たる活動の種類		団体		無償	2名	無償			
所在地	〒 790-0013 松山市畑寺町1丁目11-13	単位千円	収入合計	会費	寄附金	自主事業	委託事業	助成金	
TEL	089-927-9239	18年度	136	21	30	0	0	56	
	070-5512-5600(携帯)	17年度	133	33	0	0	0	100	
FAX	089-927-9239	16年度							
Eメール	tange@LL.ehime-u.ac.jp								
ホームページアドレス	http://yaplog.jp/openhand/								

* 下記は、箇条書きでわかりやすくご記入ください。

団体設立のきっかけ	自己評価
<p>2004年5月 数名の社会人が社会問題としてのホームレス問題に関心を持つ。</p> <p>2004年6月 ・松山市生活福祉課にて松山市の現状を聞き取り。 ・名古屋のNPOの代表を招いてホームレス問題についての学習会 市調査で市内に124名の路上生活者がいることを知る。</p> <p>2004年12月 04年12月、松山市内で訪問・お弁当提供活動 丹下助教授や学生たちも加わる。</p> <p>2005年1月 名古屋・大阪・広島などの施策やNPO活動を視察</p> <p>2005年3月 シンポジウム「ホームレス問題について考えよう」参加者50名 篠崎氏からの提案と参加者からの賛同でNPO設立へ</p>	<p>(各32点満点)</p> <p>課題発見力 25</p> <p>情報発信力 27</p> <p>組織育成力 29</p> <p>事業推進力 28</p> <p>財源開発力 25</p> <p>評価指標は千葉県「NPO家計簿」より</p>

主な活動実績

- ・脱路上生活の支援 就職(農業に従事された方もいます)、生活保護受給斡旋など
- ・路上生活者の社会参加の機会作り 石手寺でのお風呂サービスの支援、ボランティア活動への参加など
- ・健康問題への取り組み・・・路上死の防止
- ・各地での講演会での啓発活動、人権教育
塗装技術、調理技術、大工技術を持っている方が多くいます。
生活保護受給に必要な住宅を紹介して下さる不動産屋募集！生保から確実に家賃は支払われます。
お風呂サービス、デイサービスをする場所を探しています。
働き者で、明るく、まじめな方が多いです。
安い報酬で最高の仕事をします。お仕事、イベントでの手伝いがあれば協力いたします！

今、力を入れている活動

- ・訪問活動
週一度松山市内の路上生活者を訪問し、各種制度の情報提供や市役所や不動産屋への付き添いをする。
- ・炊き出し
あたたかいスープとおにぎりをつくり、提供する。健康問題への対策と信頼関係の構築、現状把握のため。
- ・寄付募集
社会参加する際に必要な衣服や身だしなみを保つための日用品などの寄付を募り、
彼らに提供することで就職活動、社会参加、自立に役立ててもらおう。
松山市役所生活福祉課と連携を取り、行政がカバーできない精神面でのケア、生活保護受給後の支援に力を入れています。

団体名:

作成日 平成 年 月 日 作成者

NPO連携シート

団体の目的・目標	わたしたちの強み
今後、団体に必要と思われること、モノなど	
目標達成のため連携したいことがあればお書きください。 どんな団体と？どんな風に？（アイデア程度でいいです）	

NPO自己評価チェックリスト

出展:千葉県「NPO家計簿フォーマット」より

このチェックリストは、みなさんが自分たちの団体を振り返り、よりよい活動にしていくための指標です。また評価内容を公開することで、団体の透明性が増し、市民の信頼を得ることができます。点数は1:できていない 2:あまりできていない 3:まあまあできている 4:できている です。

1. 課題・ニーズを発見する力	合計:	25
◆様々な手法による課題・ニーズの把握		
1) 参加者、利用者の方々と話をして情報収集をしている。		4
2) 課題やニーズを把握するためのアンケート等の調査をしている。		1
3) 地域や他の団体、関係機関との意見交換や交流の場を設けている。		3
4) 行政、または新聞、書籍、テレビなどのマスメディアから情報収集をしている。		4
◆課題・ニーズを把握するための環境		
1) 課題やニーズを調査するための人材や環境が整っている。		3
2) 課題やニーズを発見するためのネットワークや仕組みを持っている。		3
3) 課題やニーズについて得た情報について、団体で話し合っている。		4
4) 課題やニーズについて得た情報を事業に活かしている。		3

2. 広報を活かす力	合計:	27
◆様々な手法による広報活動		
1) 機関紙、ホームページ等で団体の活動を紹介している。		4
2) 行政が発行する広報誌や新聞、テレビ等のマスメディアを活用している。		4
3) 様々な行事やイベント等に参加して、団体の活動をPRしている。		4
◆広報の対象についての調査、活用		
1) 伝えたい対象者がはっきりわかっている。		4
2) 伝えたい対象者について、事前に情報を収集している。		3
3) 得た情報や調査の結果が、広報をするときに効果的に反映されている。		4
◆広報結果の調査、整理		
1) 広報をした結果について振り返りなどの調査をしている。		3
◆広報活動の環境		
1) 広報に関する仕事ができる専門家やスタッフがいる。		1

3. 組織を育てる力	合計:	29
◆人材の受け入れ、育成		
1) 事業に参加を希望する人を受け入れている。		4
2) スタッフや新人が研修するための機会を、組織内外において設けている。		4
◆組織全体で進める体制		
1) 理事会と現場のスタッフとの意思の疎通や連携がうまく取れている。		3
2) スタッフ全員で団体の課題や事業等について定期的に話し合っている。		4

◆外部力の導入、活用

- | | |
|---|---|
| 1) 分野の異なる団体や企業が開催しているフォーラム等の集まりに参加している。 | 4 |
| 2) 地域や他の団体等と勉強会や研修会をしている。 | 4 |
| 3) 外部の人を積極的に活用している(インターンシップ等) | 3 |

◆仕事を行う環境

- | | |
|--|---|
| 1) スタッフやボランティアが安心・安全に活動できる制度(保険等)が整っている。 | 3 |
|--|---|

4. 事業を推進する力 合計: 28

◆目標や計画の設定、立案

- | | |
|---|---|
| 1) 団体のビジョン、社会的な役割、活動の将来像が描かれている。 | 4 |
| 2) 目標を実現するための事業について具体的な目標や実施計画が立てられている。 | 3 |

◆取り組みの姿勢、実施体制

- | | |
|---|---|
| 1) 目標や計画の設定、立案が団体内で理解、共有化され、
実現に向けて組織全体で取り組んでいる。 | 4 |
| 2) 事業の企画、運営管理、総務(労務、経理)についてよくわかる人がいる。 | 4 |
| 3) 事業を進める上で、多様なネットワークからの支援、協力を求めることができる。 | 4 |

◆事業評価、分析、活用

- | | |
|--|---|
| 1) 計画と実績の、経費バランスの評価、検証ができています。 | 3 |
| 2) 費用対効果を含めた事業の成果について全体で検討し、改善、活用している。 | 3 |
| 3) 外部からの意見、要望、問い合わせ、クレーム等を事業へ反映させている。 | 3 |

5. 財源を生み出す力 合計: 25

◆経営の安定化を図る活動

- | | |
|---|---|
| 1) 事業づくりのための営業的活動や企画提案等をしている。 | 3 |
| 2) 安定した収益を得るための基盤となる会員拡大や事業づくりに取り組んでいる。 | 3 |

◆事業の創出、財源確保の手法

- | | |
|---|---|
| 1) 他の団体、または企業との連携や協働事業に取り組んでいる。 | 2 |
| 2) 企業や行政等が実施する公募事業(委託事業等)に応募している。 | 4 |
| 3) 行政、企業、市民等による補助金、支援金を活用している。 | 4 |
| 4) 財源を確保するために団体独自の方法がある。 | 4 |
| 5) 様々な地域資源(ヒト、モノ、カネ、情報、文化、産業など)を活用している。 | 4 |

◆専門機関の活用

- | | |
|--------------------------------------|---|
| 1) 団体経営や事業の運営等について中間支援団体や専門家に相談している。 | 1 |
|--------------------------------------|---|